

2015年度

# 環境報告書



# 【 目 次 】

## 第1章 巻頭辞と概況

- (1) 巻頭辞----- P. 1
- (2) 基本的要件と事業の概況----- P. 2

## 第2章 環境方針・目標・実績等の総括

- (1) 医療生協さいたまの環境方針----- P. 5
- (2) 2015年度の目的・目標と実績等の総括----- P. 6
- (3) インプットとアウトプット----- P. 8

## 第3章 環境マネジメントの状況

- (1) 環境マネジメントシステムの状況----- P. 9
- (2) サプライチェーンマネジメントの状況----- P.14
- (3) 情報開示と環境コミュニケーション----- P.15
- (4) 環境法規制順守の取り組み----- P.16
- (5) 緊急事態対応訓練の概要----- P.17

## 第4章 環境活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取り組みの状況

- (1) エネルギー使用量の削減----- P.18
- (2) 紙使用量の削減と再生紙の使用促進----- P.23
- (3) 廃棄物の削減と適正な処理----- P.25
- (4) 環境負荷を軽減する活動の促進----- P.28
- (5) 環境に配慮したまちづくりに参加する----- P.29
- (6) もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる  
行為に反対し、平和を守る----- P.31
- (7) 原発ゼロを求める活動をすすめます----- P.32

# 第1章 巻頭辞と概況

## (1) 巻頭辞

### 「私たちは原発事故からいったい何を学んだのか」

2011年3月の福島第一原発事故から5年半が経過しました。現在、福島第一原発の敷地内では原発労働者たちの努力と奮闘により、困難を伴いながらも廃炉に向けた作業が少しずつ進められています。現場の労働者が被曝による健康被害のリスクを背負いながら、この大切な課題に取り組んでいることに敬意を表するとともに、原発労働者の健康を守るために最大限の配慮がなされることを求めたいと思います。また世界中の英知を結集することにより、できる限り早く本当の意味で原発事故を収束させることを国に対して求めたいと思います。

日本国民は過酷な原子力事故を自ら体験し、原発の安全神話に対する反省もしながら、原子力発電に頼らず、それに替わるエネルギーとして再生可能エネルギーの活用に取り組もうとしていたはずでした。確かに一部には先進的な実践もみられましたが、残念ながら時間とともにその熱い議論も風化しつつある印象を受けます。すでに政府は、原発事故の真の原因すらわからないまま原発の再稼働を強引に推し進め、成長戦略の一つとして原発の輸出にも大きな力を入れようとしています。現在もなお先の見えない避難生活を強いられている被害住民の思いや、放射線による健康被害をめぐって不安な日々を送っている福島の子どもたちやその家族の思いとは極めて対照的です。私たちは原発事故からいったい何を学んだのでしょうか。

そもそもエネルギーを活用するということは一体何を意味するのでしょうか。人々の生活を豊かにし、子どもたちの希望を実現し、明るい未来を切り開くためのものだったはずですが。しかし現状では原発再稼働が推し進められ、その理由として経済活動の効率性や一部の人々の利益、軍事にも転用できる原子力技術の保持が優先されているとしか思えません。これだけ多くの人々、特に未来ある子どもたちを犠牲にしてまで手に入れなくてはいけないものとは何なのでしょう。原発事故の記憶が風化しつつあるなかで、あらためて何のためにエネルギーを使うのか、子どもたちや一般市民を犠牲にするようなエネルギー政策でいいのか、といった議論をしなければならないと考えます。

私たち医療生協さいたまは、「人が人として大切にされる社会」「平和とくらしを守り健康で笑顔あるまち」を作ることを目標としています。その実現のためにも、自らが日常の事業活動の中でエネルギーを大切にし、再生可能エネルギーの利用にも積極的に取り組みながら、子どもたちにも環境にもやさしいエネルギー政策の確立を強く社会に訴えていきたいと考えています。

2016年9月

医療生協さいたま生活協同組合 理事長 雪田慎二

## (2) 基本的要件（対象組織・期間・分野）と事業の概況

### ① 基本的要件（対象組織・期間・分野）

対象組織：医療生協さいたま全体

対象期間：2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）

対象分野：医療生協さいたまの全事業（保健医療事業、介護事業、配置薬事業、組合員対象サービス事業）

### ② 事業の概況（2016年3月末現在）

名称：医療生協さいたま生活協同組合

本部所在地：川口市木曾呂1317番地

代表者：理事長 神谷 稔

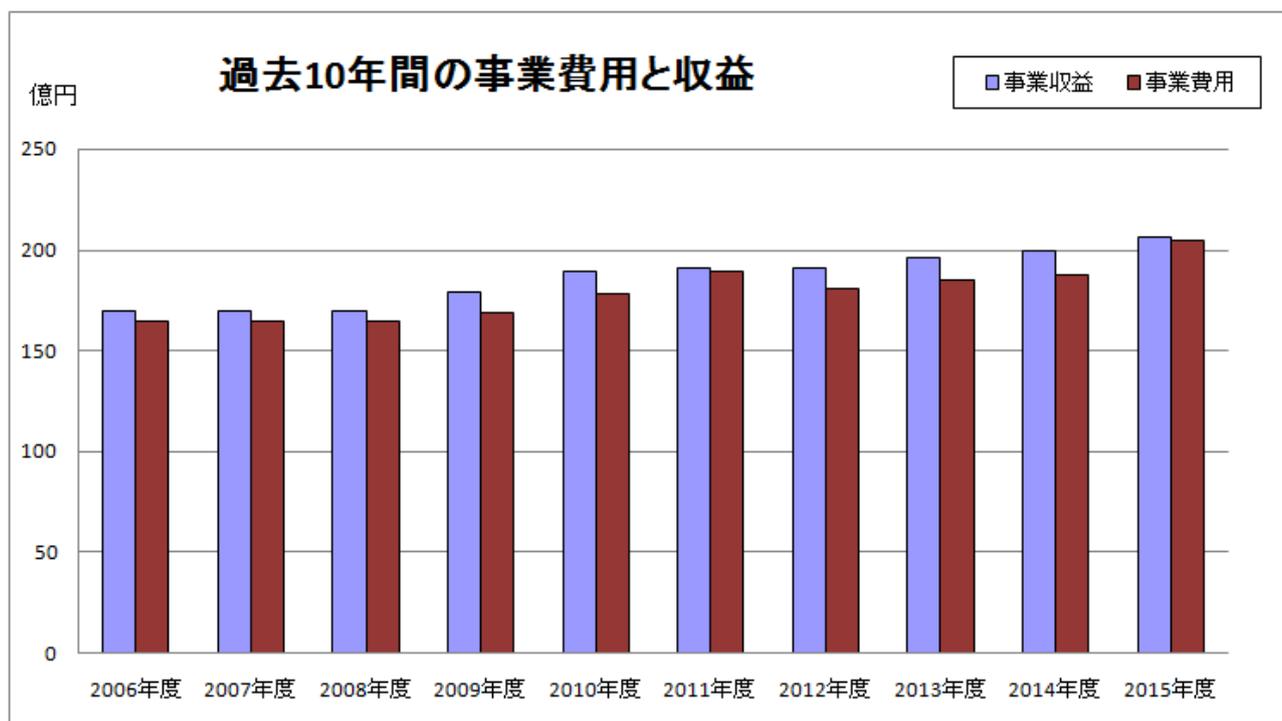
出資金：62億2千万円

事業収益：約206億円

職員数：常勤職員1,388人、非常勤職員863人（常勤換算）

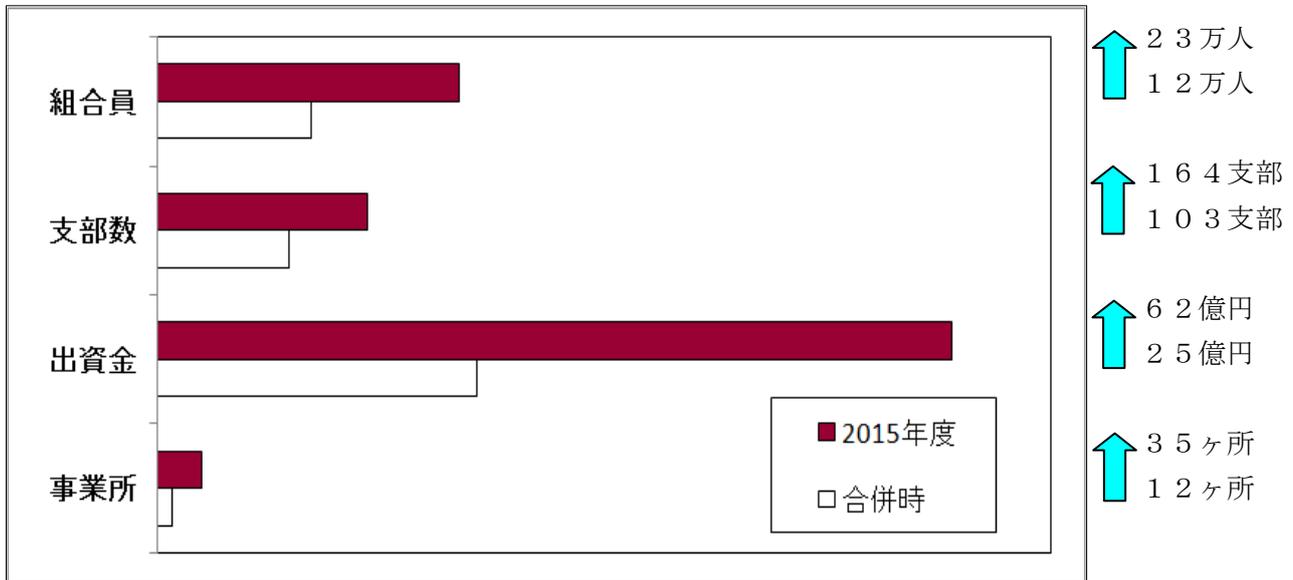
事業内容：保健・医療事業、介護事業、配置薬事業、組合員対象サービス事業

事業所：4病院（一般病床536床、療養型病床95床）、8医科診療所、2歯科診療所、2老人保健施設（入所定員200人）、1介護付有料老人ホーム、17訪問系介護事業所、配置薬事業、本部



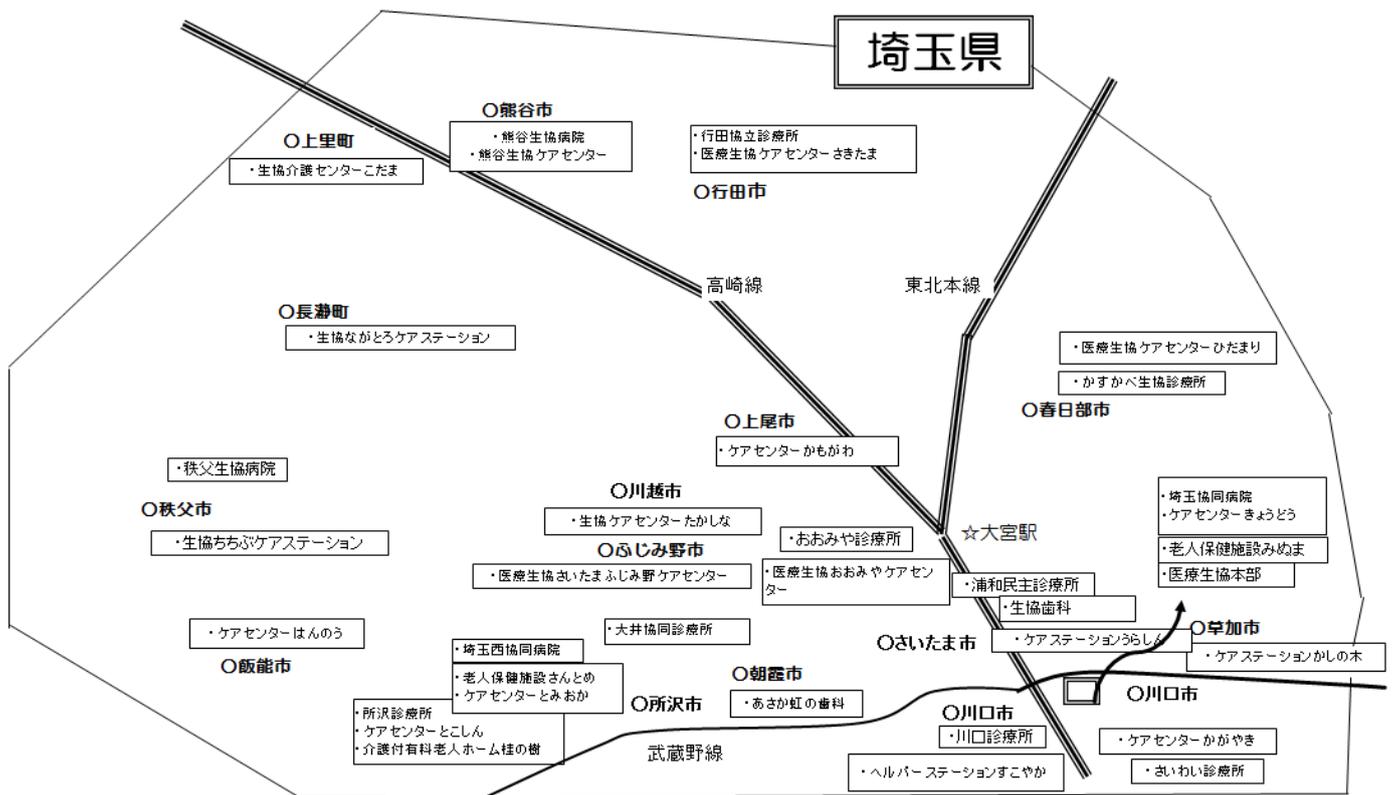
医療生協さいたまは、1992年に埼玉県内6つの医療生協が合併して誕生しました。その24年間の変化は、下図のように発展し、組合員数237,192人（埼玉県住民世帯比7.9%）、164支部、約2,941班を擁する日本最大の医療生協組織となっています。

医療生協合併時（1992年）から現在までの24年間の変化



③ 事業所の位置図

医療生協さいたま 事業所位置図



④ サイトにおける業務一覧

サイト No.	サイト名	各サイトの業務一覧			
		外来診療	病棟診療	その他	介護事業
1	埼玉協同病院	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科（人工透析）、緩和ケア外科	8病棟 401床	各種健康診断	訪問リハビリ
2	埼玉西協同病院	内科、外科、眼科、整形外科、皮膚科	1病棟 50床	各種健康診断	通所リハビリ
3	熊谷生協病院	内科、小児科	2病棟 105床	各種健康診断	通所リハビリ、療養型病床、短期入所
4	秩父生協病院	内科、小児科、循環器内科、リハビリテーション科	2病棟 75床	各種健康診断	通所リハビリ、療養型病床、短期入所
5	老人保健施設みぬま				入所、短期入所、通所リハビリ
6	老人保健施設さんとも(ケアセンターとみおか含む)				入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援
7	川口診療所	内科		各種健康診断	通所リハビリ、訪問リハビリ
8	さいわい診療所	内科		各種健康診断	
9	浦和民主診療所	内科、循環器科、消化器科		各種健康診断	居宅介護支援
10	おおみや診療所	内科		各種健康診断	
11	かすかべ生協診療所	内科		各種健康診断	通所リハビリ
12	大井協同診療所	内科、小児科		各種健康診断	通所リハビリ
13	所沢診療所	内科、循環器内科		各種健康診断	
14	行田協立診療所	内科、歯科		各種健康診断	通所介護
15	生協歯科	歯科、小児歯科、矯正歯科			
16	あさか虹の歯科	歯科、小児歯科、矯正歯科			
17	ケアステーションかしの木				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
18	ケアセンターきょうどう				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
19	ケアセンターかがやき				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、通所介護
20	ヘルパーステーションすこやか				訪問介護、居宅介護支援
21	医療生協ケアステーションうらしん				通所介護 (別棟)訪問看護、訪問介護、居宅
22	ケアセンターかもがわ				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
23	医療生協おおみやケアセンター				訪問介護、居宅介護支援、通所介護
24	医療生協ケアセンターひだまり				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
25	生協ケアセンターたかしな				訪問介護、居宅介護支援
26	医療生協さいたまふじみ野ケアセンター				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、
27	ケアセンターとこしん				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
28	介護付有料老人ホーム 桂の樹				特定施設入居者生活介護
29	ケアセンターはんのう				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
30	熊谷生協ケアセンター				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
31	生協介護センターこだま				訪問介護、居宅介護支援
32	医療生協ケアセンターさきたま				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
33	生協ちちぶケアステーション				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
34	生協ながとろケアステーション				訪問介護
35	本部事務局			法人事務業務 組合員対象サービス	
36	配置薬センター			配置薬サービス	

## 第2章 環境方針・目標・実績等の総括

### (1) 医療生協さいたまの環境方針

#### ISO14001 環境方針

地球環境の保全と創造は、21世紀の人類共通の課題であり、私たちひとりひとり（組合員・職員）にとっても、事業者（医療生協さいたま）にとっても、避けて通れない課題となっています。

医療生協さいたまは、「健康なくらし、明るいまち、生きいき医療生協」をめざし、埼玉県全域で医療・介護のサービスを展開する事業者として、地球環境に配慮した活動を積極的にすすめます。

医療生協さいたまは、大規模な開発による環境破壊や排気ガスによる大気汚染、原発による人体と環境への放射能汚染、そしてもっとも愚かな環境破壊である戦争行為に反対し、いのちと平和をまもり環境を保全する活動にとりくみます。

医療生協さいたまの職員は、毎日の仕事（事業活動・サービス）を通じて、環境の改善及び汚染予防、環境マネジメントの継続的向上をはかり、環境関連の法律や規制、協定を遵守します。

- 1、医療生協さいたまは、環境保全、環境負荷軽減のために以下の事項に積極的に取り組みます。
  - ①電力等、エネルギー使用量を削減します。
  - ②紙使用量を削減するとともに、再生紙の使用を広げます。
  - ③医療材料等の使用にあたって、環境負荷の少ない製品を積極的に選択します。
  - ④廃棄物の適正な処理と削減をはかります。
  - ⑤エネルギー消費や自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素、窒素酸化物の削減に取り組みます。
  - ⑥環境に配慮したまちづくりに参加します。
  - ⑦原発ゼロを求める活動をすすめます。
- 2、医療生協さいたまは、各事業所及び生協本部において、環境目的と目標を設定し、環境マネジメントシステムを継続的に見直し、業務の改革につなげます。環境方針及び目標達成の課程と成果は全職員に周知します。
- 3、医療生協さいたまは、この環境方針を、印刷物やホームページ等を通じて広く一般に公表します。

制定日 2004年9月1日

改訂日 2011年7月27日

医療生協さいたま生活協同組合  
理事長 雪田 慎二



## ② 環境管理進捗表

### 【環境目的・目標達成度を示す情報】

<p>パフォーマンス 2015 年度実績値 (4～3 月)</p>	<p>電力使用量(2014 年度比) 102.6%、ガス使用量(〃) 98.8%、水道使用量(〃) 102.0%、灯油使用量(〃) 100.3%、ガソリン使用量(〃) 100.0%、CO<sub>2</sub>排出量(〃) 98.3%、紙購入量(〃) 104.7%となっています。電気使用量が対前年比+2.6%、水道使用量が対前年比+2.0%の増加となっています。 CO<sub>2</sub>排出量は排出係数変更の影響もあり、対前年比-1.7%と減少しました。</p>
<p>事業所からの報告等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境情報記録は、25 事業所から 335 通が寄せられており、2014 年度末と比べて約 92%となりました。また、10 事業所が 0 通となっています。</li> <li>・周辺美化、環境整備、緑化活動に継続的に取り組む事業所から報告が来ています。</li> <li>・設備や運用を工夫し、継続して節電対策に取り組んでいる報告が来ています。</li> <li>・今年度から、自治体の環境条例は本部で確認することとし、環境活動月次報告書 4 月号に一覧を掲載しました。</li> </ul>
<p>その他の情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 12 回環境コンクールの選考が行われ、5 月 22 日の全県会議で老人保健施設みぬま(ベストパフォーマンス賞)と配置薬センター(ベストアイデア賞)が表彰されました。</li> <li>・今年度もクールビズ方針(5 月 1 日～10 月末)が出されて、実施されています。</li> <li>・「環境活動月次報告」「エコニュース」は継続して、毎月出されています。</li> </ul>

### 【評価、コメント】

<ol style="list-style-type: none"> <li>1、今年度の法人環境目標として、電気・ガス使用量を前年比 99%にする、ということ法人 MS 委員会で確認しました。これは、有料老人ホーム桂の樹建設(12 月開設)による使用量増加と、長期天気予報による今冬平均気温は平年並みか平年より高い予測とを含めて、前年度以下にする、という目標設定になっています。</li> <li>2、パフォーマンスは、電気使用量、水道使用量、灯油使用量、ガソリン使用量で対前年比を上回りました。目標達成率も電使用量が 96.5%、ガス使用量が 100.2%となっています。CO<sub>2</sub>排出量換算では、電気の CO<sub>2</sub>排出係数が 2015 年 11 月 30 日付で変更されたため、電気使用量は増えましたが、前年比 98.3%と前年を 1.7%下回りました。事業の拡大に併せてガソリン使用量の増加も見込まれますが、事業所用の車を、契約更新時に環境性能がより高い車に切り替え、環境負荷を減らす取り組みを行っています。</li> <li>3、紙購入量は、対前年比 104.7%で、昨年度 7 月以降減少傾向にありましたが、建設事業所の宣伝チラシの作成や、定款の印刷、マネジメントマニュアルの変更等で増加しました。紙使用量削減では iPad 会議の拡大や、総代会・学術運動交流集会資料の外部委託等が削減につながっています。</li> <li>4、周辺美化活動や緑化推進、紙削減、ゴミ減量化・有効活用等への継続的な取組を行う事業所が増加し、環境活動が定着してきています。</li> <li>5、多くの事業所で節電対策が継続され、埼玉協同病院では、昨年を引き続き、空調室外機の断熱塗装やエアコンのベアリングの交換、熱交換器の分解清掃などを実施する計画となっています。他の事業所でも、デマンドモニター活用の再検討など、手順や運用を見直して廃棄物や電気使用量の削減に取り組んでいます。</li> <li>6、原発ゼロへの取り組みが重要課題となっています。節電対策が継続され、毎月支部へ放射能測定器が貸し出されて、測定が続けられています。また、原発ゼロ署名、原発ゼロ集会への参加等も取り組まれています。さらなる発展が必要となっています。 医科診療所では、4 月に紙マニフェストから電子マニフェストに変更しました。紙帳票や保管場所の削減、集計にかかる時間の削減を目指しています。</li> </ol>
--

### (3) インプットとアウトプット (2015 年度)

#### <インプット> (著しい環境側面)

\*電気使用量 (9,714,889kw 時)

\*燃料使用量

都市ガス (1,051,623 立方m)

L P G (23,646 立方m)

灯油 (30,183L)

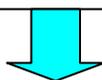


\*自動車用燃料使用量

ガソリン (285,630 L)

\*紙使用量 (15,244,743 枚)

\*医療材料、衛生材料の使用



#### \*保健医療サービス

●外来 ●入院 ●在宅 ●健診



#### \*介護サービス

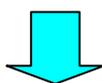
●訪問看護 ●訪問介護 ●居宅介護支援 ●通所リハビリテーション  
●通所介護 ●訪問リハビリテーション ●老人保健施設入所  
●療養型病床の入所 ●短期入所療養介護サービス



#### \*配置薬事業サービス

#### \*組合員対象サービス

●保健教室 ●くらしの学校  
●健康機材販売サービス ●組合員情報紙「けんこうと平和」発行サービス



#### <アウトプット> (著しい環境側面)

\*感染性廃棄物 (438,872kg)

\*二酸化炭素排出 (8,027,266kg)

\*汚水、排水 (159,136 立方m)



#### (良い環境側面)

\*再生紙の使用

\*植木、植栽、観葉植物

\*リサイクル製品の利用



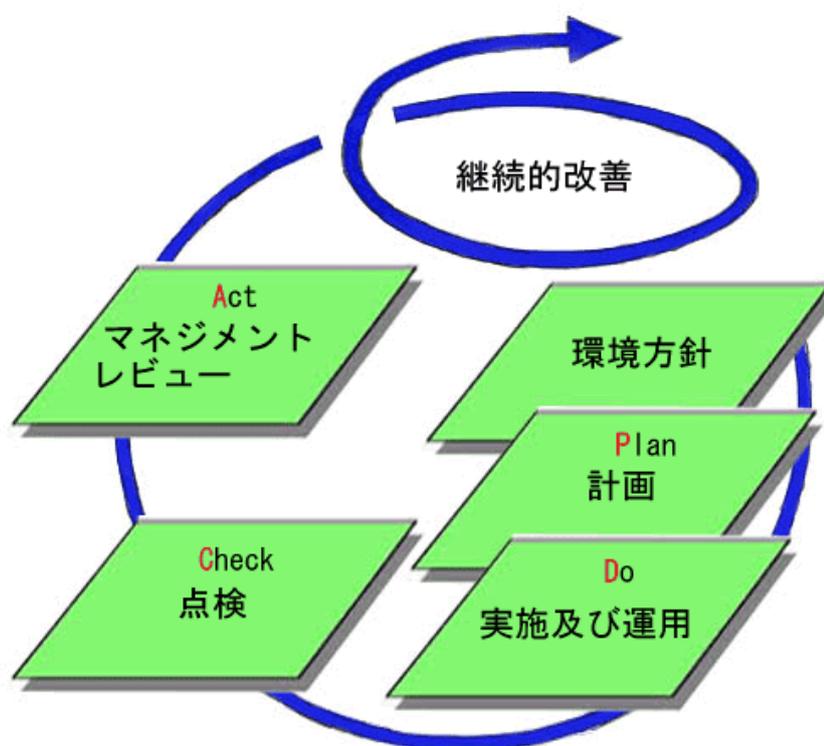
# 第3章 環境マネジメントシステム

## (1) 環境マネジメントシステムの状況

### ① 環境マネジメントシステムの概要

「環境マネジメントシステム」とは、組織の活動によって生じる環境への負荷を常に低減するよう配慮・改善するための「組織的なしくみ」のことをいいます。

組織が自ら環境方針および目的を定め、その実現のための計画（Plan）を立て、それを実施及び運用（Do）し、その結果を点検及び是正（Check）し、さらに次のステップを目指した見直し（Act）を行うというPDCAサイクルを確立していきます。それによって、環境マネジメントシステムを継続的に向上させ、環境に与える有害な負荷を減少させることをねらいとしています。



### <用語解説> ISO

ISOは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）の略称で、各国の代表的標準化機関から成る国際標準化機関です。「民間自身が民間のために民間規格を作る機関」として1947年に設立され、本部はスイスのジュネーブにあります。設立の目的は、「商品とサービスの国際的な交換を容易にし、知識・科学・技術・経済に関する活動において、国際的な交流を助長するため、国際的な規模の標準化とこれに関するさまざまな活動を発展・促進すること」とされています。

この標準化機構が定めたものに、「ISO14001」（環境保護に関する目標を決めて取り組むもの）、「ISO9001」（一定水準のサービスを提供するために業務基準を整備してとりくむもの）などがあり、国際的な統一規格となりつつあります。

## ② 第3者評価の取得

ISO14001とは、国際標準化機構（ISOと略する）が発行した、環境マネジメントシステムの国際規格です。

医療生協さいたまでは、環境問題は人類共通の課題、避けて通れない課題と考えてきました。また、医療・介護事業、健康づくりやまちづくりを担う我々にとっても避けて通れない課題です。そこで、毎日の仕事を通じて改善を続けていく環境保全の水準として、ISO14001を2002年11月に取得しました。それ以外にも第3者評価の導入を積極的に進めてきました。以下にその経過を記します。

- ・1998年2月 埼玉協同病院 病院機能評価認定
- ・2002年6月 埼玉協同病院 ISO9001認証
- ・2002年11月 医療生協さいたま ISO14001認証
- ・2003年11月 医療生協さいたま ISO9001認証
- ・2004年11月 埼玉協同病院 ISO9001、医療生協さいたま ISO9001、医療生協さいたま ISO14001の統合
- ・2005年7月 熊谷生協病院で病院機能評価認定
- ・2006年3月 医療生協さいたま全体でプライバシーマークの認定を取得
- ・2006年3月～5月 埼玉西協同病院、秩父生協病院で病院機能評価認定



### 環境問題とISO14001の認証取得について

2001年7月3日 本部役員会

#### 1. 環境問題とは何か

①環境問題とは、人間による生産・消費活動が引き起こす地球環境の破壊によって生ずる種々の問題である。大規模な健康影響のみならず、人類の生存そのものを危うくするものとして、21世紀の世界的課題の一つである。

②その主なものは以下のとおり

- ・大気、海洋、水の汚染（道路公害、化学汚染、核実験による汚染等々）
- ・大気中の二酸化炭素等の増加による地球温暖化。
- ・温暖化の結果としての氷河の後退、異常気象、海水面の上昇など
- ・フロンガスの放出によるオゾン層の破壊
- ・野生生物の減少等の生態系の破壊



③近年、環境問題は深刻さを増しており、1992年の「環境と開発に関する国連会議」以降、人間活動のあらゆる分野について、環境保全の観点が求められている。

#### 2. 医療生協の視点

①「自主的組合員活動と信頼される事業を通じてつくる健康な暮らし、明るいまち、生きいき医療生協」（第2次5か年計画メインテーマ）をかかげる医療生協にとっては、事業活動、組合員活動のいずれにおいても避けて通ることのできない課題である。

②国や大企業がすすめる大規模な開発による環境破壊や排気ガスによる大気汚染など、環境問題を社会的問題として捉えることは、重要なことである。二酸化窒素の測定活動、ゴミ問題での自治体への要請、など、これまでの活動をいっそう発展させる必要がある。

③同時に、環境問題とは、経済活動に携わる個々の事業者の課題であり、また、個々の働く人々や地域住民の課題であるとの認識も欠かすことができない。このような立場に立つてこそ、私たちは、主体的に環境問題に関わることができる。

#### 3. 具体的な取り組み課題としてのISO14001の認証取得（略）



## ④ 環境監査の概要

### 1) 外部監査

医療生協さいたまでは、審査登録機関による ISO14001 サーバーランス審査を6ヶ月毎に受審してきました。しかし、2004年11月の ISO9001 との統合に伴い、以後の審査は、ISO9001 との統合審査として実施されることになりました。

そして、2008年度からは、それまでの年2回から、年1回の維持審査を実施することに変更しました。

そのサーバーランス維持・特別・統合・複合審査が、2015年11月10日～11日に実施されました。

#### 【サーバーランス・維持・特別・統合・複合審査】 2015年11月10日～11日

I S O維持審査は、5名の外部審査員により経営者・管理責任者、法人MS委員会、埼玉協同病院、埼玉西協同病院、老健みぬま、老健さんとめ、さいわい診療所、かすかべ生協診療所、大井協同診療所、生協歯科、あさか虹の歯科、CCかがやき、CCひだまり、CCこだま、CCふじみ野、CCかしの木を審査対象として11月10日～11日の2日間にわたって実施されました。なお、老健さんとめ及びCCふじみ野では新しいサービスの認証登録のための特別審査が行われました。

最終会議では審査員より環境に関する不適合として、廃棄物処理の契約書の不備が1件指摘されました。その他、「観察事項」29件（品質15件、環境11件、共通3件）、「高く評価できる点」15件（品質13件、環境1件、共通1件）が検出されたことが報告されました。

前回不適合であった事業所移転時の環境影響評価の未実施に対する是正処置は、該当事象が発生していないことにより、次回審査でその有効性が確認されることになりました。



### 2) 内部監査

内部監査は、年間計画に基づいて、環境マネジメントシステムの有効性の確認を行うもので、この結果はマネジメントレビューに反映され、継続的な改善が図られています。

医療生協さいたまでは、ISO14001「内部環境監査規程」に基づき内部環境監査を実施してきました。

その後、「品質」及び「個人情報保護」マネジメントシステムとの統合に伴い、「内部マネジメントシステム監査」として、年2回6月と12月に内部監査を実施しています。

#### 【6月の内部監査】

この監査では、併せて22件の不適合と293件の改善提案事項が指摘され、良い点は213件ありました。その内、環境に関わる不適合は3件、改善提案事項は18件でした。

#### 【12月の内部監査】

この監査では、併せて26件の不適合と231件の改善提案事項が指摘され、良い点は201件ありました。その内、環境に関わる不適合は4件、改善提案事項は18件でした。



## ⑤ 環境教育のとりくみ

医療生協さいたまでは、環境教育を一般教育、特別教育に分け、それぞれの対象者と教育内容を定め、事業所ごとに年間教育計画を作成して、実施してきました。

一般教育は、環境方針、環境目的・目標等の周知と環境に関する意識向上、緊急事態への対応などについて、パワーポイントを活用するなどして行いました。

特別教育は、著しい環境影響を生じる可能性のある作業に該当する作業手順書、及び該当する緊急事態への対応、不適合への対応、法規制についての周知について行いました。

新入職員に対しては、毎年4月の入職オリエンテーションの時期に、教材を用いて、研修を行っています。



## ⑥ 環境コンクールのとりくみ

### \* 第13回環境コンクール——2015年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：電気ポット）
- ＊さいわい診療所「電気使用量を前年比 94.5%に削減」
- ☆ベストアイデア賞
- ＊該当なし

### \* 第12回環境コンクール——2014年度

- ☆ベストパフォーマンス賞
- ＊老人保健施設みぬま「伝熱管の清掃でガス使用量を前年比 77.2%に削減」
- ☆ベストアイデア賞
- ＊配置薬センター「エコカー燃費性能比較」

### \* 第11回環境コンクール——2013年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：電気ポット）
- ＊ケアセンターたかしな「電気使用量を対前年度比 79.1%に削減」
- ☆ベストアイデア賞
- ＊埼玉西協同病院「エコチェックラウンド、デマンド対策の実施で電力使用量抑制」

### \* 第10回環境コンクール——2012年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：テプラ）
- ＊生協介護センターこだま「電気使用量を対前年度比 89.4%に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：エコ用品）
- ＊浦和民主診療所「節電ニュースの発行や節電学習会の取り組み」
- ＊秩父生協病院「デマンド対策の実施とグリーンカーテンで秩父市から2年連続優秀賞」

### \* 第9回環境コンクール——2011年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：園芸用品一式）
- ＊かすかべ生協診療所「電気使用量を対前年度比 78.8%に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：エコ用品）
- ＊浦和民主診療所「節電ニュースの発行やチームグリーンカーテンの活動」

## (2) サプライチェーンマネジメント (SCM) の状況

### ① 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントシステムの概要

医療生協さいたまでは、新規取引業者の評価および選定に対して、「環境対応」についてを評価項目に入れて選んでいます。

さらに、現在の取引業者についても1年に1回再評価をしていますが、その時の評価項目にも「環境対応」を加えて、実施しています。

また、施設の新築、改築、設備の更新に際しても、環境に対する配慮を大切にしている、工事の方法、設備の内容にも環境にやさしいものを追求しています。

### <用語解説> サプライチェーンマネジメント (SCM)

サプライチェーンマネジメント (Supply Chain Management) は、供給連鎖管理とも訳され、一般的には、製造から販売までの工程における情報を、組織や企業をまたいで共有することによって、効率化とコスト削減などを推進する経営手法のこととされています。

ISO14001 では、2004年改訂版で「環境側面」の項で「組織が管理でき、かつ影響が及ぼすと思われる」と記載されていた部分が、「組織が管理できる側面及び影響を及ぼすことができる側面」という言葉に改訂され、直接管理できなくとも影響を及ぼすことができる管理側面がマネジメントの対象となることが明確化されました。これによって、従来規格ではあいまいであったサプライチェーンマネジメントを明確に要求するものになったと解されています。付属書で更に具体的な考慮事項が列挙されています。

具体的には、取引先に対して、事業活動における環境配慮の取組に関し、どのような要求や依頼をしているのか、それをどのようにマネジメントしているのかなどのことです。

### ② 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントシステムの実績

#### 取引業者の再評価における環境対応へのチェック

☆毎年度末に、事業所ごとに取引業者の再評価を実施していますが、すべての取引業者について、価格、納期、購買品の品質、個人情報保護体制とともに環境対応を項目に入れて再評価をしています。

☆その内容は、ISO14001を取得しているかどうか、または、包装の引き取りなどに応じているかを評価しています。

☆再評価の結果、不十分な場合には、取り引きを中止することもしています。



■取引業者再評価記録 [ 年度 ]						【取引業者の再評価項目】									
事業所:					承認印 事業所 管理者	評価項目	基準					再評価の結果(○、△、×で判定)	コメント 総合判定	評価者	承認
部門:						① 価格	契約した価格で納入されている								
作成日/作成者:						② 納期	規定された納入期限が守られている								
						③ 購買品の品質	規定された要求事項を満たす購買品が納入されている								
						④ 環境対応	ISO14001を取得している、又は包装の引き取りなどに応じている								
						⑤ 個人情報保護体制	機密保持契約書(A)もしくは(B)の要求事項を順守している								
						⑥ その他購買品又は委託業務ごとに必要な項目・基準									
※(A)は個人情報を委託している場合、(B)は個人情報を委託せずに保管場所に立ち入る場合に○印を記入															
取引業者名	購買品	※個人情報開示		住所	電話	再評価の結果(○、△、×で判定)						コメント 総合判定	評価者	承認	
		(A)	(B)			①	②	③	④	⑤	⑥				

### (3) 情報開示と環境コミュニケーション

#### ① ISOXROSSの活用

医療生協さいたまのLANでは、ASTRUX、通称ISOXROSSという文書管理システムを利用して、マニュアルや規程などの文書、監視測定や環境情報などの記録、各種様式、学習資料などを各事業所に提供し、最新版管理をしています。



#### ② 環境情報記録

各事業所からは、内部情報として、環境に関する活動報告、職員の気づきや問題点などが寄せられます。また、外部情報として、患者様や組合員から寄せられた意見や苦情、行政や外部団体から情報も寄せられます。それらをもとに、必要な改善処置を実施しています。

#### ③ 「エコニュース」の発行

2003年5月より、毎月1回定期発行され、必要に応じて号外が出され、メールで全事業所に配信すると共に、ISOXROSSに登録されて閲覧できるようになっています。これには、環境情報記録などで寄せられた環境活動等について、全事業所に知らせたい事項や監視測定結果などが載せられて水平展開されています。

#### ④ 「環境活動月次報告書」の発行

2005年4月版より、毎月1回定期発行され、現在はA4版16ページ立てで、メールで全事業所に配信すると共に、ISOXROSSに登録されて閲覧できるようになっています。これには、事業所毎の各種パフォーマンス値が載せられると共に、環境情報記録の抜粋、トピックスなどが掲載されて、環境活動を進める上での情報開示とコミュニケーションの手段となっています。

**146号 エコニュース** 発行2015年6月28日 医療生協さいたま 549委員会事務局

改正Fロン注の対応は済んでいますか?

**点検対象機器**

■業務用空調機器  
冷房・冷熱・除湿・加湿機能  
冷房・冷熱・除湿・加湿機能  
冷房・冷熱・除湿・加湿機能

■業務用冷蔵庫・冷凍庫  
冷房・冷熱・除湿・加湿機能  
冷房・冷熱・除湿・加湿機能

■管理者(ユーザー様)が取り組むこととして

●機器の点検  
●漏えいの対処  
●記録

●一定規模以上のものについては定期点検が必要となり、別な資格は必要ない為当院のスタッフでも実施できます。(1つづつは検針)

●一定規模以上のものについては定期点検が必要となり、別な資格は必要ない為当院のスタッフでも実施できます。(1つづつは検針)

●今回の調査では機器の劣化やフロン不足の恐れもあわせて検針が必要です

**2015年度環境情報記録送付ランキング** 2015年9月分

総合ベスト5

- ① 埼玉中央病院 (9票)
- ② さいたま中央病院 (5票)
- ③ さいたま中央病院 (2票)
- ④ さいたま中央病院 (2票)
- ⑤ さいたま中央病院 (2票)

**152号 エコニュース** 発行2015年12月28日 医療生協さいたま 679委員会事務局

**COP21パリ協定**

国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)は、2020年以降の地球温暖化対策の新しい枠組みとなる「パリ協定」を採択しました。

パリ協定(2015年採択)	京都議定書(2005年採択)
目的 産業革命からの削減と再生エネルギー未減に替えることを目指す。2050年未満に2℃未満とする	先約で、大気中の温室効果ガス濃度を安定させる為
対象国 196カ国・地域	55カ国・地域(2012年-2020年)
長期目標 できる限り、世界の温室効果ガス排出量を削減し、今世紀後半に実質ゼロにする	なし
国際貢献目標 全ての国に協定・報告・実施を義務付け、ただし目標値は各自が自ら決定	目標値は各自が自ら決定
違反の厳罰 なし	厳罰課税あり
途上国への資金支援 先進国が2020年以降、1000億ドル下積みを実施する事は合意したが、協定に盛り込まれず	先約で先進国に協定の義務があるが実施

**電気CO2排出係数が変わりました**

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度により、毎年度、調整後温室効果ガス排出量を事業所層六段に報告することが義務付けられています。平成26年度の温室効果ガス排出量を算定する際、平成26年度の電気事業者の実績に基づき排出係数及び調整後排出係数等について、経済産業省及び環境省より発表されました。

事業者名	調整後排出係数 (kg-CO2/kWh)	前年比
東京電力㈱	0.496	0.026減(0.95倍)
日本ケル㈱	0.588	0.047増(1.08倍)

**パフォーマンス進捗表**

項目	進捗率
CO2	98.8%
電熱	103.8%
ガス	102.6%
水道	98.7%
灯油	98.8%
LPガス	111.2%
紙	100.8%

**2015年度 環境活動月次報告書 2016年3月版**

目次

1. 観衆・トピックス
2. 放射線測定
3. 2015年度 パフォーマンス値まとめ
4. 環境活動の紹介・緑化・環境美化の推進
5. 環境情報記録
6. 電気使用量
7. ガス使用量
8. 水道使用量
9. 灯油使用量
10. ガソリン購入量
11. 紙購入量
12. CO2排出量 (変更後)
13. CO2排出量 (変更前)
14. CO2排出量構成グラフ
15. CO2排出量指標

**目標達成率**

項目	達成率
CO2	100.2%
電熱	95.3%
ガス	98.6%
水道	98.7%
灯油	100.8%
LPガス	89.0%
紙	98.2%

2016.5.18 法人MS委員会事務局作成

## (4) 環境法規制順守のとりくみ

### ① 環境法規の最新版管理

法人MS事務局では、事業所のある自治体に対して、環境関係の条例について変更がないか確認し、その結果を環境活動月次報告書に掲載しています。

環境関連の条例確認結果					
2015年度 自治体環境関連条例聞き取り調査					
事業所	自治体	担当課	確認手段	環境関連条例変更	確認日
法人	埼玉県		ホームページ	「埼玉県生活環境保全条例(H14.4.1施行)」 H26.4.1 特定化学物質5項目追加(H25.12.24制 定)以降変更なし	2015/4/11
埼玉協同病院 配置薬センター 老人保健施設みぬま 川口診療所 さいわい診療所 ケアセンターきょうどう ケアセンターかがやき ケアセンターわかぐさ	川口市	環境部 環境総務課	ホームページ	「川口市環境基本条例(H10.9.28施行)」 変更なし	2014/4/11
埼玉西協同病院 老人保健施設さんどめ 所沢診療所 ケアセンターとこしん ケアセンターとみわか	所沢市	環境ク リーン部 総務課	ホームページ	「所沢市環境基本条例(H9.4.1施行)」 変更なし	2015/4/11

また、「ISO14001 環境法規制ハンドブック」、「チェックリスト環境保全基準」、インターネット等から常に最新情報を入手するように務めています。

### ② 環境法規等要求事項登録表の更新

2015年度は、関連する法規を調査した結果、“フロン類回収破壊法”を“フロン排出抑制法”に変更し、下表の20法令について、対応すべき事項を明確にしました。

また、それ以外にも、各事業所から寄せられてきた、それぞれの自治体の環境関係の条例、業界団体等のガイドラインなど対応しなければならない要求事項を特定し、必要に応じて「環境法規等要求事項登録表」を更新しています。

### 環境法規等要求事項登録表に掲載している20法令

家電リサイクル法、建設資材リサイクル法、廃棄物処理法、PCB  
廃棄物処理特別措置法、地球温暖化対策推進法、省エネ法、フロン  
排出抑制法、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法、水質汚濁防  
止法、水道法、浄化槽法、消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法、  
電気事業法、建築基準法、薬事法、毒物及び劇物取締法、医療法（施行  
規則第30条22）



### ③ 環境法規制順守評価

各事業所では、毎年10月に、「環境法規等要求事項登録表」に基づいて、環境法規制順守評価が行われています。

最新の環境法規等に基づいて、順守されているかを担当者が評価し、コンプライアンスに基づく、環境活動を推進しています。

## (5) 緊急事態対応訓練の概要

全事業所で「緊急事態の可能性リスト」を作成し、緊急事態に対応するため日頃からそれらに対する対応策を検討し、対応手順を明らかにすると共に、毎年緊急事態対応訓練を実施して、いざという時への備えをしています。

### < 緊急事態対応訓練を実施した事例 >

#### ☆秩父生協病院（トリアージ訓練）

訓練内容：地震が発生したシナリオで、病院外来フロアをトリアージスペースとして、トリアージした患者様の対応方法・院内で対応できない緊急処置に関して、救急搬送手順に沿って搬送までの流れを確認する。

参加人数：32名(医局3名、管理・総務3名、医事課7名、NS4名、CW3名、リハビリ2名、MSW1名、薬剤師1名、放射線1名、食養1名、組織1名、組合員5名)

振り返り：

- ・トリアージしてもらったあと、処置をする場所が分かりづらい
- ・歩行できない方への車いす用意がなかった
- ・トリアージのタグを切らない・名前が聞かれなかった
- ・患者様を運搬するときの安全性の配慮が欠けていた(ブレーキしていない・段差で揺れるなど)
- ・職員は自分に何ができるのか・何をするのかを考えて動くことが必要
- ・トリアージスペースは院外に設置し、院内が混乱しないようにする必要がある

シナリオを意識しすぎて、現場での対応がおろそかになっていた。災害時に対応できるように今回の訓練を教訓にマニュアルの改訂が必要と参加者の多くが感想で述べていた。

実情に合わせ、手順を整えていくためのきっかけとなり、マニュアル改訂につながる訓練となったことで、今回の訓練は有効と判断する。

#### ☆生協ちちぶケアステーション（地域の防災訓練に参加）

訓練内容：事業所所在の熊木町防災訓練参加

訓練内容：熊木町町民 80 名程参加

（町会理事、民生委員、在宅福祉委員、敬老会、青年部、一般）

- ・避難場所の確認（秩父公園が市役所建設の為使用不可で避難場所が変更）  
銘仙館公園（避難場所）に集合後熊木町公会堂に移動
- ・AED訓練、秩父生協病院看護師2名の指導による訓練を実施。5人一組で4チームが体験

防災担当者からは「和気あいあいと楽しく訓練ができよかった。体験することが大事、このような気さくな関係が大切。」と言っていた。

振り返り：

熊木町の方とも交流ができ、普段から顔なじみの関係が大切。

災害時にも連携・協力することを確認できた。

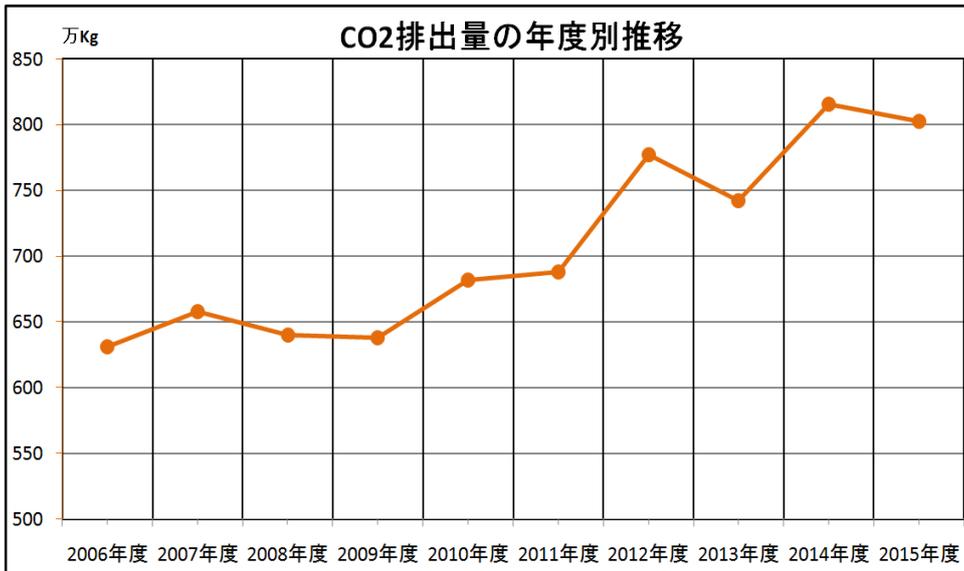


# 第4章 事業活動に伴う環境負荷

## 及びその低減に向けた取組の状況

### (1) エネルギー使用量の削減

#### ① パフォーマンス値の概要



対前年度比	
CO <sub>2</sub>	98.3%
電気	102.6%
ガス	98.8%
水道	102.5%
灯油	100.3%
ガソリン	100.0%

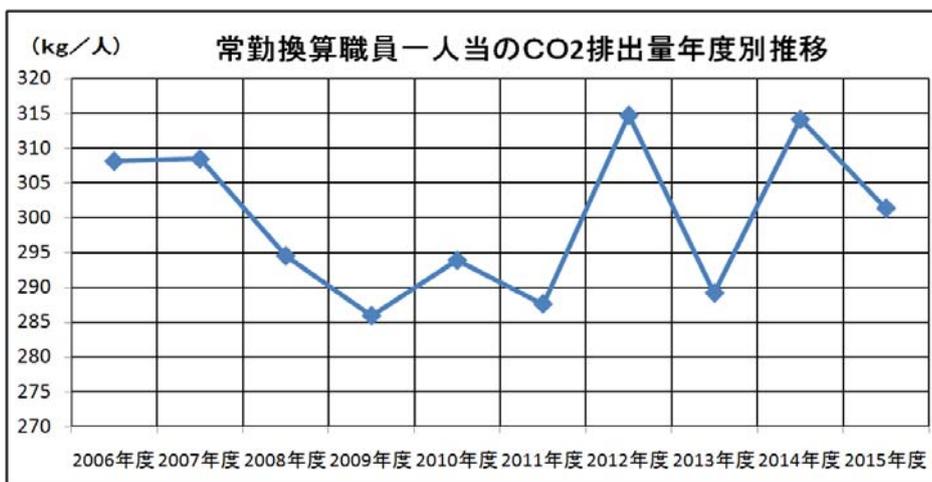
電気、水道、灯油で増加しています。しかし、東京電力のCO<sub>2</sub>排出係数が、前年比で約0.95倍に下がったため、CO<sub>2</sub>排出量では1.7%の減少となりました。

2015年度は4月上旬頃まで寒さが続き、また、例年より早く気温が上昇したこともあり、4月～7月の電気・ガス使用量が前年大きく上回りました。7月の法人マネジメントレビューで環境パフォーマンス削減に関する提言があり、9月頃から削減取り組みの効果が始めましたが、前年度より抑えることはできませんでした。

1) 2015年度の概要  
2015年度のパフォーマンス値集計の結果、全体のCO<sub>2</sub>排出量は、対前年度の累計比で98.3%となり、1.7%減少しました。

それぞれの使用量は、対前年度比では、左表のように、電気102.6%、ガス98.8%、水道102.5%、灯油100.3%、ガソリン100.0%となっており、

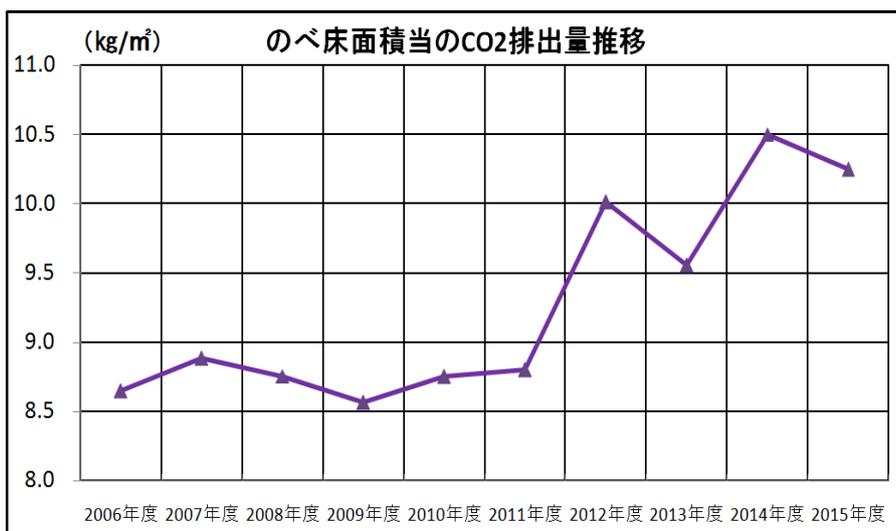
#### 2) 常勤換算職員一人当のCO<sub>2</sub>排出量は、対前年度比95.7%と減少



2015年度の常勤換算職員一人当のCO<sub>2</sub>排出量を見てみると、対前年度比95.7%と減少に転じていることがわかります。常勤換算職員数は前年度と比べて102.5%と増加していますので、CO<sub>2</sub>排出量が抑えられていることが伺えます。ただし、CO<sub>2</sub>排出量が減少しているのは電気のCO<sub>2</sub>

排出係数が下がったため、実際の電気・水道・灯油の使用量は減少しています。

3) のべ床面積当のCO<sub>2</sub>排出量は、対前年比 98.1%と減少

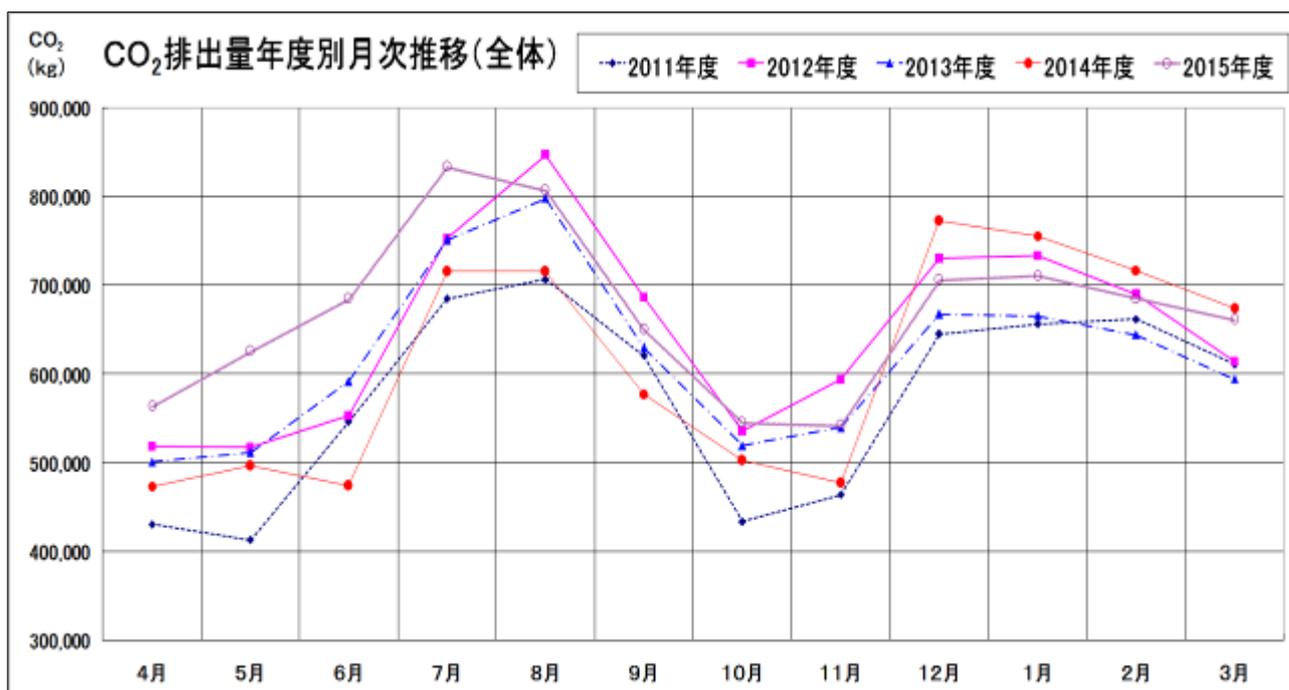


2015年度ののべ床面積 (m<sup>2</sup>) 当の CO<sub>2</sub> 排出量は、前年比 98.1%と減少しています。

2015年度は、介護付有料老人ホーム桂の樹の建設があり、延べ床面積が 2.6%増加しています。その分、CO<sub>2</sub>排出量が抑えられたため、わずかに減少に転じました。

4) 月次推移からは、夏期と冬期にCO<sub>2</sub>排出量増加

① CO<sub>2</sub>排出量年度別月次推移



全体のCO<sub>2</sub>排出量の月次推移をしてみると、上図のように夏期と冬期の割合が高く、空調関係による影響が大きいものと考えられます。2015年度は、猛暑の影響で4月～7月のエアコン稼働に影響が強く、法人MR等で節電を呼びかけた結果、当期の電気使用量は2014年度より抑えることができました。

② エネルギー使用量の削減の取り組み

2015年度は、東日本大震災以後の節電の要請も踏まえて、法人全体で「電気・ガス使用量を、2014年度比 99%以下に削減」することを目標にしてきました。

具体的には、「エネルギー使用量削減規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で

推進してきました。

エネルギー	運用基準
電気の使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電ステッカーを貼る</li> <li>・空調温度設定の順守（夏 28℃、冬 22℃）</li> <li>・パソコンの終業時、不使用時の電源OFF</li> <li>・エレベーターの使用について、例外除き職員の使用禁止</li> </ul>
ガスの使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調温度設定の順守（夏 28℃、冬 22℃）</li> <li>・ガス器具の業務以外の使用制限</li> </ul>
ガソリンの使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行記録表による公用車使用状況の把握と点検</li> <li>・ガソリン購入量の請求書、伝票による把握と記録</li> <li>・「アイドリングストップ」のステッカーを貼る</li> <li>・短距離は自転車使用</li> </ul>

2015年度は、CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みを継続するために、7年前から全事業所で実施してきた“クールビズ”期間を2014年度と同じく5月1日～10月31日の期間で、以下のように実施しました。

**・全事業所で“クールビズ”を実施**

全事業所で、5月1日～10月31日の期間“クールビズ”を実施しました。内容は、

- ① 夏期空調設定温度を28℃に設定し、エネルギー削減効果を高める。
- ② ノーネクタイ、ノー上着などを含め、涼しく、効率的に仕事をすすめる服装を着用する。
- ③ とりくみの内容をポスター等で、職員・組合員・利用者の皆さんにアピールし、理解を得る。

以上を、職場毎に工夫して実施しました。

**③ 取り組み事例**

各事業所では、「エネルギー使用量削減規程」に基づいて、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

**・「ケアステーションうらしん 自転車の整備」**

業者による全ての自転車の点検・整備を行っていただきました

タイヤの摩耗等詳しく点検してもらい、4台の修理が必要で修理を依頼しました。

自転車使用の安心・安全のため、ヘルメット着用と合わせ全職員で取り組んでいます

**・「秩父生協病院 室温上昇防止に暗幕設置」**

患者さんの要望と室温の上昇からカーテン業者に暗幕を依頼し、設置した。

患者さんからも効果があると感想があった。

### ・「本部事務局 デマンドコントロール取り組み結果」

H27年2月にデマンドの増加によって、契約電力がそれまでの50kWから60kWに上がったことを受け、今年度デマンドコントロールを行い、契約電力を48kWに引き下げることを目標にデマンドコントロールに取り組みました。

取り組みの方法として、

- ・デマンドピークの把握
- ・デマンドモニターの活用
- ・空調使用基準の導入

等を行った結果、契約電力を60kW→45kWに下げることができました。

契約電力を下げることで、電気基本料金も25,272円/月の削減となり、取り組みの成果が表れました。

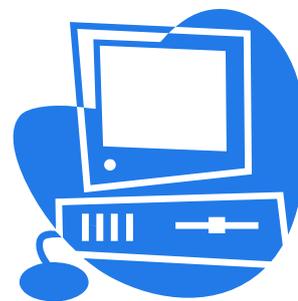
### ・「埼玉協同病院 診察終了時の電源 OFF」

診察終了後でもパソコンやプリンターの電源がつけっぱなしで誰も気づかず帰ってしまうケースが多く、夜勤者が気づいて消すことがあったため、診察終了後パソコンやプリンターの電源を切りましょうの表示をして一人一人が意識して終了時の電源オフの取り組みを実行した。

診察終了後にパソコンとプリンターの電源が消されている時は消されている。

健診センター100%、専門外来70~80%→診察状況による。2016/2/29 現在

医師の反応→表示をとってしまうケースがあった以外は、特に問題なく電源が消されていたので今後も継続していく。



### ・「埼玉西協同病院 扇風機の利用」

管理室窓側の職員が強い日差しにより体感温度が暑く感じる。管理室外によしずを設置し、日差しの軽減を行ったことで、体感温度が以前より暑く感じるものが少なくなった。

また、管理室の空調が全体に効率よく回まわらないため、扇風機を使用したところ、冷房効果がアップし、冷房温度を下げなくてもよくなった。



### ・「生協介護センターこだま 交通安全」

交通安全のDVDをみて職員一同、安全運転について再確認をしました。車間距離を取り、交通事故を起こさないように各自が気を付けて運転をしています。

ロッカーや棚にしまってある書類を整理して片づけました。倉庫に預ける書類等を分けて棚に余裕ができました。

ダンボールや古紙などを障害者施設の資源回収に出しました。

裏紙を利用したりして今後もエコ活動を続けていきます。



「夏・冬のエコライフDAYに取り組みました」

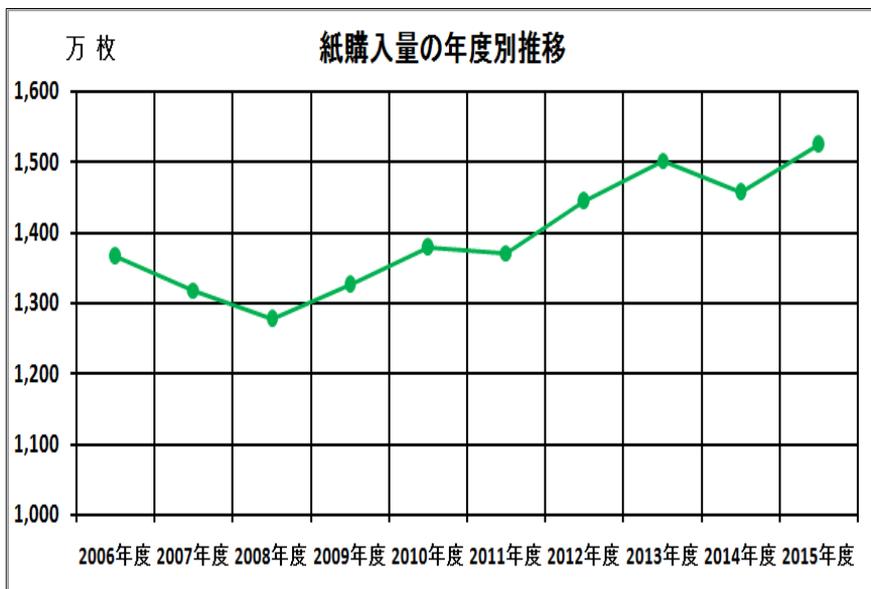
2015年度も夏と冬のエコライフDAYに取り組み、職員とその家族合わせて、夏 1,044人分、冬 1,015人分を集約しました。これで、CO<sub>2</sub>を夏 979,315g、冬 980,276g削減したことになります。

エコライフ DAY 集計		夏のエコライフ DAY			冬のエコライフ DAY		
事業所名		参加者数	削減量 (g)	1人当たり削減量(g)	参加者数	削減量 (g)	1人当たり削減量(g)
病院	埼玉協同病院	426	430,065	1009.54	376	361,856	962.38
	埼玉西協同病院	16	15,362	960.13	25	25,750	1030.00
	熊谷生協病院	52	43,270	832.10	57	50,460	885.26
	秩父生協病院	27	21,723	804.55	20	21,357	1067.85
診療所	浦和民主診療所	32	30,092	940.38	21	20,541	978.14
	川口診療所						
	さいわい診療所	16	15,914	994.63			
	おおみや診療所				11	9,866	896.91
	かすかべ生協診療所	8	7,109	888.63	14	12,274	876.71
	所沢診療所				8	5,901	737.63
	大井協同診療所	30	28,779	959.30	14	11,730	837.86
	行田協立診療所						
	生協歯科	20	15,364	768.20	25	24,015	960.60
	あさか虹の歯科				10	10,210	1021.00
有料老人ホーム	桂の樹				18	18,242	1013.44
老健	さんとめ	3	2,342	780.67			
	みぬま				7	7,795	1113.57
本部	本部事務局	18	15,066	837.00	16	13,335	833.44
	配置薬センター						
介護事業所	CSかしの木				23	23,696	1030.00
	CCきょうどう	38	31,961	841.08	17	13,726	807.41
	CCかがやき	15	14,206	947.07			
	HSすこやか	19	18,479	972.58	12	14,138	1178.17
	CCうらしん	58	53,687	925.64	67	68,618	1024.15
	CCかもがわ	34	32,768	963.76	34	32,768	963.76
	CCおおみや	29	29,854	1029.45	22	21,726	987.55
	CCひだまり				13	14,671	1128.54
	CCふじみ野				12	12,781	1065.08
	CCたかしな	33	32,607	988.09	32	33,757	1054.91
	CCとこしん	22	18,606	845.73	23	22,335	971.09
	CCはんのう	26	20,719	796.88	28	23,839	851.39
	CC熊谷						
	CCこだま	20	16,138	806.90	17	17,828	1048.71
	CCさきたま	32	27,489	859.03	49	46,392	946.78
CCちちぶ	47	38,885	827.34	44	40,669	924.30	
CCながとろ	23	18,830	818.70				
合計		1,044	979,315	938.04	1,015	980,276	965.79

## (2) 紙使用量の削減と再生紙の使用促進

### ① パフォーマンス値の概要

#### 1) 2015年度の概要



2015年度の環境パフォーマンス値の集計の結果、全体での紙購入量は、対前年度累計比で104.7%となり、4.7%前年度を上回りました。

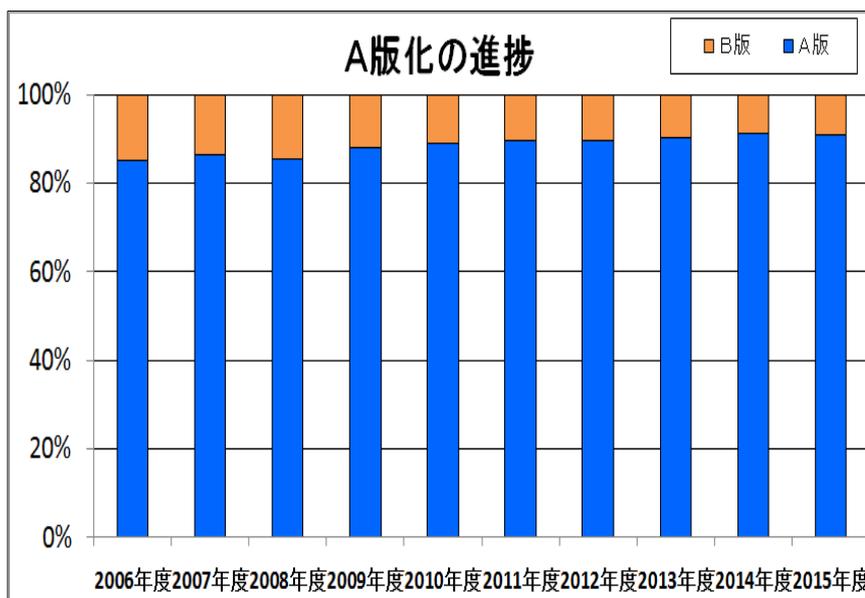
法人全体では年度で、15,244,543枚の紙を購入しましたが、2014年度よりも688,493枚増加しています。年間購入枚数を面積にすると1,060,393㎡となり、埼玉スタジアムの約20倍に相当します。

また、常勤換算職員一人当たりになると、年間紙購入量は約

7,033枚で、1シメ500枚で数えると、一人約14シメになります。

紙の購入量は、増加傾向で推移していたのが、2013年度に減少となりました。これは、電子カルテの更新が落ち着いたことと、総代会、学術運動交流集会の資料の外部印刷、iPad会議の導入等を要因として減少したものと考えられます。2015年度も引き続き削減の取り組みを行いました。新規事業所の建設や、事業所移転に関連して、宣伝物を多く印刷した影響で増加しました。

#### 2) A版化の進捗

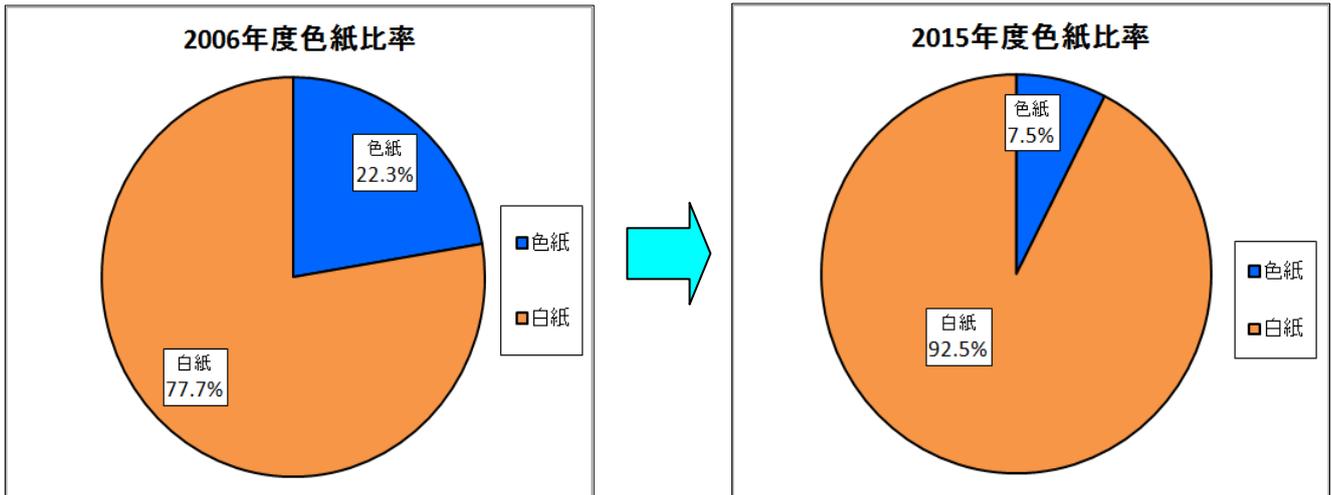


A4版化は、医療生協さいたま全体の方針として、この間推進してきました。その結果、左のA版化の進捗グラフに見られるように、2005年度82.8%だったものが、徐々に増加し、2015年度には、91.1%へと至っています。しかし、2014年度の91.3%と比べるとわずかに後退しています。

埼玉協同病院、埼玉西協同病院、秩父生協病院、川口診療所、老人保健施設みぬま、介護事業所では、A4版化は9割以上に

達していますが、他の診療所等ではまだ6割、7割水準にとどまっているところも見られます。それらの事業所での用途は、色紙同様組合員向け支部ニュース等が主のことですが、B4版→A4版により、パルプ使用量も減り、単価も半分近くへ減少するのでさらに相談しながら推進する必要があると思われます。

### 3) 色紙使用の適正化



私たちが使っている色紙は古紙配合 70%以下で 100%の再生紙ではなく、購入単価も A 4 白紙（古紙パルプ 100%）と A 4 色紙（古紙 70%薄口）を比較すると 3.5 倍、A 4 色紙（古紙 70%中厚）と比較すると 5.1 倍と白紙の 3～5 倍もするのでほんとうに必要なものか検討の上、削減をはかる必要があることを 2006 年度から提起してきました。

しかし、組合員や患者向け配布物に色紙が多く使われていて、減少しにくい現実がありましたが、埼玉協同病院や秩父生協病院、熊谷生協病院、川口診療所、おおみや診療所、所沢診療所、あさか虹の歯科、老人保健施設みぬま、介護事業所等では、きちんと訴えて、徹底して管理したことなどにより、数%台まで減少させてきています。

それらによって、色紙比率は、色紙使用量の測定を開始した 2006 年度は、22.3%あったものが着実に減少し、2015 年度は 7.5%と、10 年間で 14.8%減ってきています。

今後さらに、エコ推進と経費対策の両面から、さらに白紙に切り替える必要があると思われます。

### ② 紙使用量削減の取り組み

運用基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議使用枚数の設定</li> <li>・機関紙、ニュースの効率的活用</li> <li>・紙購入量のチェック</li> <li>・裏紙使用、両面使用の推進</li> <li>・メールの積極的活用、FAX 効率的活用</li> <li>・再生紙の使用促進</li> </ul>

2015 年度は、紙使用量の増加傾向が続いていることを受け、2014 年度は一端減少したものの、引き続き紙使用量の削減に向けて、電子化できる帳票はないか、会議紙使用枚数の再確認や、設定通りに使用枚数を守るにはどうするか等を法人 MS 委員会、全県会議で検討しました。

具体的には、「紙使用量削減・再生紙の使用促進規程」に基づき、左表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

### ③ 取り組み事例

各事業所では、「紙使用量削減・再生紙の使用促進規程」を受けて、様々なアイデアを出し合って、紙使用量の削減に取り組んできました。次は、その事例です。

<p>・「行田協立診療所 会議紙使用枚数の決定」</p> <p>★会議紙使用枚数★ ※原則として両面印刷とすること</p> <p>職員会議・・・12 枚以内      管理会議・・・7 枚以内      マネジメントレビュー・・・20 枚以内</p> <p>支部長会議・・・20 枚以内      その他会議・・・3 枚以内</p>
--

### ・「あさか虹の歯科 FAX 受信用紙を裏紙に」

FAX の受信用紙を裏紙に変更した。積極的な裏紙の使用を進めていく。

診察室内に複合機を設置し、端末ごとに設置していたコピー機を撤去し、複合機に一括集中させる。これにより、

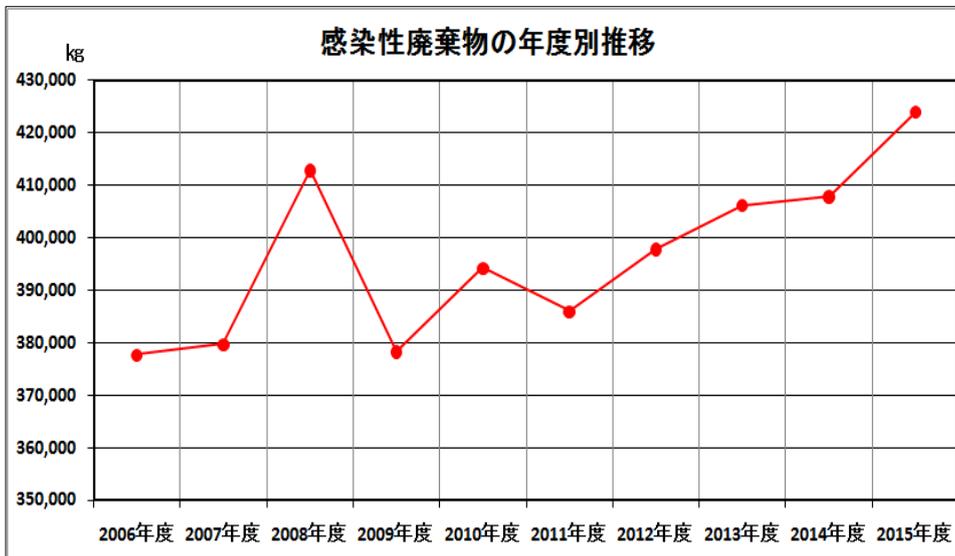
- ・インクトナーの削減
- ・スペースの確保
- ・印刷コストの削減 に、成功した。



## (3) 廃棄物の削減と適正な処理

### ① パフォーマンス値の概要

#### 1) 感染性廃棄物のパフォーマンス値



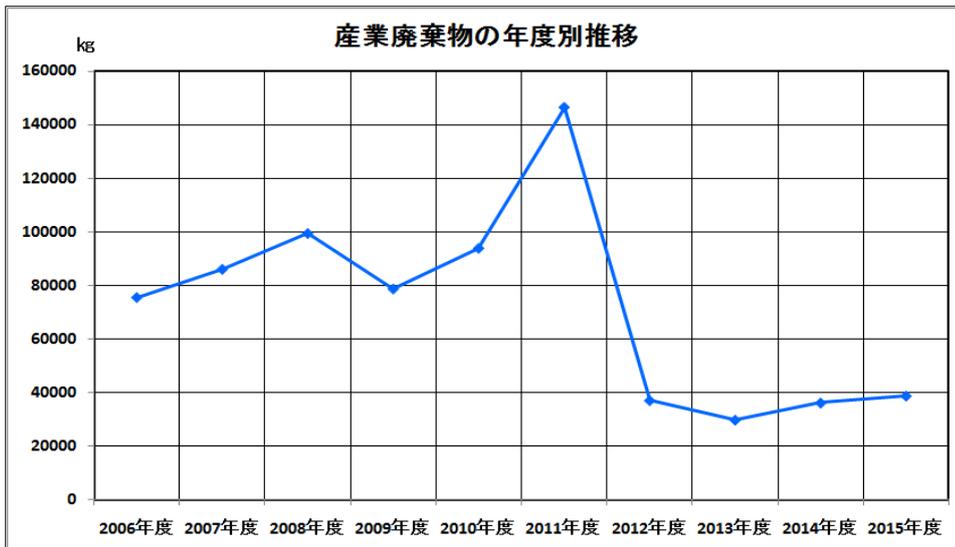
全体での感染性廃棄物量は、2004年度に前年比 122.5%と増加しましたが、これは、本来一般の産業廃棄物としてもよい廃プラスチック類をより管理の厳しい感染性廃棄物として処理する事業所が増えたためでした。2004年度から 2006年度にかけては2年続けての減少となったものの、

2006年度から 2008年度では、逆に2年続けての増加となりました。2008年度から 2009年度では、91.6%と減少しましたが、2009年度から 2010年度では、105.4%と再び増加転じました。その後、2010年度から 2011年度では、96.8%と減少に転じましたが、2011年度以降増加が続いています。2015年度は、新しく事業所が始まったこともあり、2014年度比で 104%と増加しています。

(尚、1 m<sup>3</sup>=300 kg、1 L=0.3 kgで換算)

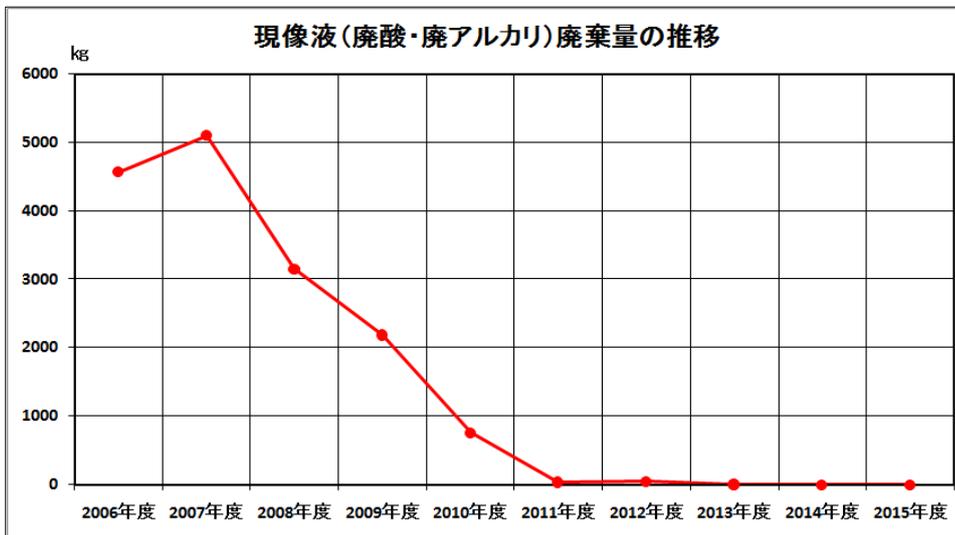
#### 2) 産業廃棄物 (廃プラスチック他) のパフォーマンス値

産業廃棄物量 (廃プラスチック他) は、法人全体で 2005年度 3年連続増えましたが、2008年度⇒2009年度では、79.2%と減少に転じました。しかし 2009年度⇒2011年度では、120.3%、186.3%と再び大幅な増加に転じています。その中には、本来一般の産業廃棄物としてもよい廃プラスチック類をより管理の厳しい感染性廃棄物として処理する事業所が 6事業所あるので、その分産業廃棄物量 (廃プラスチック他) は、プラスして考える必要があります。2011年度から 2012年度にかけて大幅に減っていますが、熊谷生協病院で計量単位を体積から重量に変更したことと、埼玉西協同病院で病院機能評価の関係で 2011年度に大量に廃棄物を出したのが、通常に戻ったことによるものと考えられます。



(尚、1 m<sup>3</sup>=300 kg、  
1 L=0.3 kgで換  
算)

### 3) 廃酸・廃アルカリのパフォーマンス値



全体での、現像液(廃酸・廃アルカリ)廃棄量は、2003年度から2006年度にかけて、3年続けて大きく減少しましたが、2006年度⇒2007年度では、111.7%と増加しました。

しかし、それ以後は4年連続して減少していたものの、2011

年度⇒2012年度は若干増えています。

これは、レントゲン撮影のデジタル化が順次進められ、フィルム現像液・定着液の使用が大きく減ってきているためです。

2011年度に、おおみや診療所で、2013年に、行田協立診療所歯科でデジタル化され、アナログX線を使う院所はなくなりました。

### ② 廃棄物削減と適正な処理の概要

目標	運用と活動	運用基準
紙類の回収、再資源化の徹底	紙類の分別基準徹底	・紙類の分別と有効活用
感染性廃棄物を2014年度以下に削減する	マニフェストの交付	・マニフェストの交付と管理の徹底
	法に基づいた適正な運用	・法的手続きの適正化

2015年度は、「紙類の回収、再資源化の徹底」、「感染性廃棄物を2014年度以下に削減する」の2つを目標に取り組みを進めてきましたが、感染性廃棄物は少し増加してしまいました。

具体的には、「廃棄物管理規程」に基づき、上表のような運用基準によって、全事業所で推進してき

ました。また、医療廃棄物がどのように処理されているのかについて、現地に赴いて確認することも行って、適正な処理に努めています。

### ③ 取り組み事例

各事業所では、「廃棄物管理規程」に基づいて、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

#### ・「秩父生協病院 院内巡視で廃棄物の分別を確認」

ICT ラウンドを行いゴミの分別に問題あり。感染性廃棄物について統一できるよう見直す必要がある。

費用：医療廃棄物レオペール→単価 350円

6月の使用合計 10個 = 3500円

医療廃棄物 固形状物→単価 110円

6月の使用合計 108個 = 11880円

おむつ専用容器 →単価 110円

6月の使用合計 229個 = 25190円



感染性廃棄物処理代は、**単価 1kg→96円** 6月の使用合計 3318kgなので、**税込み価格 387,824円** となりました。

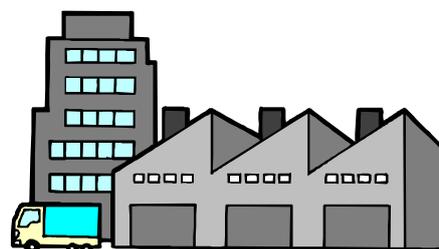
燃えるゴミは感染性廃棄物と分別し、感染性廃棄物の削減に努めましょう。というニュースを出し呼びかけました。

#### ・「埼玉協同病院 廃棄物最終処分場見学」

当院から排出される感染性廃棄物の最終処分場の見学を行いました。

当院から排出された感染性廃棄物は株式会社により、群馬環境リサイクルセンターへ運ばれ、中間処理（焼却）されます。その後、契約している最終処分場へ運ばれて埋め立てされます。最終処分場は6カ所登録されていますが、使用しているところは“ひめゆり総業株式会社”と“株式会社クリーンテック”の2社となります。今回は“ひめゆり総業株式会社”を見学してきました。

ひめゆり総業株式会社はエアアクション21の認証であり、安全と安心の提供を目指して廃棄物を管理、処理しています。管理型の最終処分場であり処分場からの排水もきちんと浄化され、水道水と同等程度に浄水してから川へ放流しています。現在は第2処分場を使用していて4～5年位使用できます。第3期の予定地も申請中となっています。地域への配慮も行って、ひめゆり監査委員会を年2回開催し、地域住民との交流をしていました。今回の視察で感染性廃棄物が適正に管理・処分されていることを確認しました。また信頼して処分を任せられる業者であることを確認しました。



## (4) 環境負荷を軽減する活動の促進

### ① 「環境負荷を軽減する活動促進」概要

2015年度も、「業務改善・工夫による資源（医療材料）の抑制」と「環境負荷の少ない製品の積極的選択」を目標に取り組みを進めてきました。

具体的には、「環境負荷軽減活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
業務改善・工夫による資源（医療材料）の抑制	業務改善・工夫による資源（医療材料）抑制手順の研究	・業務手順の改善による推進
環境負荷の少ない製品の積極的選択	医療・衛生材料の対象品研究と採用	・調査研究と採用品の決定
	その他の対象品の採用拡大	・採用品目を増やす

### ② 取り組み事例

各事業所では、「環境負荷を軽減する活動促進」について、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

#### ・「配置薬センター 環境と合成洗剤を考える学習会実施」

7/17（金）にふれあい会館にて配置薬学習会「環境と合成洗剤を考える」（14時～16時）を開催した。参加者40人で分かりやすい講師（太陽油脂、特別顧問、長谷川治氏）の話に皆、聞き入っていた。

環境省の「P R T Rデータを読み解くための市民ガイドブック」をもとに、使用されている有害物質、環境汚染の実態などを説明し、合成洗剤が環境を汚し、身体に大きなダメージを与える実態や、自然に帰る石けんで汚れが十分落ちることを実験も交えて話された。

国は有害物質の使用実態の公表にとどまり、規制に対しての不十分さも指摘していた。

参加者のアンケート回収率53%であった。回答は「わかりやすく勉強になった」が100%だった。意見としては「石けんと合成洗剤の違いが良くわかった」「実験が楽しくて、なぜ石けんがいいのかよくわかった」「すばらしい話だった」「合成洗剤の悪から切り替える機会をもてた」「若い世代と子供たちにも聞く機会があるといいと思った」というようなものがあがった。

環境と健康を願う配置薬事業の一つとして今回の学習会を開催したが、この間、生協歯科、上福岡南、東富士見支部でも同様の学習会依頼があり、実施した。今後はくらしサポーター学習会（ふじみ野）、浦和美園支部でも予定している。

石けん製品利用と環境への関心が高まる取り組みと感じている。

#### ・「埼玉西協同病院 薬の残薬整理ポスターを掲示」

薬の残薬が社会問題となっている。入院時にたくさんの持参薬を見て飲んでいない実情を多くみかける。

外来で残薬調整をしますというポスターを張り、患者さんが自宅にたくさんあると思われる残薬を持ってきて、日数調整や飲んでいない薬剤の削減を図っている。



## (5) 環境に配慮したまちづくりに参加する

### ① 「環境に配慮したまちづくりに参加する」概要

2014年度は、「組合員と協同して、健康にらせる環境づくりに取り組む」、「周辺の環境整備や緑化の推進に取り組む」ことを目標に活動を進めてきました。

具体的には、「環境に配慮したまちづくりに参加する活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
組合員と共に健康に くらせる環境づくりに 取り組みます	環境をテーマとしたイ ベント開催（地区毎）	・各種行事や健康まつり等において、 環境に関わるイベントの実施
	環境に関する学習、啓蒙 活動の推進	・各事業所は環境に関する学習会を年 1回以上開催
周辺の環境整備や緑 化の推進に取り組 みます	植栽や観葉植物の設置	・設置場所の決定と、担当者配置など の措置 ・事業所周辺の環境保全と緑化に役立 つ計画を立てて、実行
	自治体、地域の環境に関 する事業、企画に積極的 に参加する	・関連する自治体、地域の環境に関す る事業、企画に積極的に参加する

### ② 取り組み事例

各事業所では、「環境に配慮したまちづくりに参加する」活動について、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

#### ・「老人保健施設さんともめ 街のクールオアシス協力機関の届出」

埼玉県健康長寿課へ、まちのクールオアシス協力機関の届出を行った。まちのクールオアシス協力店ステッカーポスターが送付された。

ステッカー、ポスター掲示の他、「熱中所お休み所」ののぼり旗を作成し施設外に掲示している。



#### ・「ケアステーションうらしん フラワーキャンペーンに参加」

近隣商店街のフラワーキャンペーンに協力

商店街のフラワーキャンペーンにて鉢植えを購入し街の美化活動に参加しました。デイサービスの利用者の皆様に秋の装い出迎えることができ喜んでいただいています。

#### ・「生協ちちぶケアステーション 地域の清掃活動に参加しました」

当日は天気も良く、道路や周りの草の中のごみ拾いも行いました。

集めたごみは町内の役員の方がクリーンセンターにもって行きました。機会があればまた参加したいと思います！！

## 「二酸化窒素の測定」実施 ～組合員との協同で環境守る活動推進

「埼玉の空をきれいにする会」に加盟する「埼玉県生活協同組合連合会」の一員として、医療生協さいたまも毎年6月と12月の年2回二酸化窒素濃度測定に取り組んでいます。測定数を昨年同月と比較すると、6月は96.9%、12月は98.0%と共に減少しています。

### <2014年二酸化窒素測定の結果>

6月は測定登録カ所498カ所のうち、436カ所での測定結果を分析し、単純平均は21.8ppbになりました。2014年6月は450カ所の測定結果を分析し、平均は23.8ppbでしたので、昨年より低い数値になりました。

また、12月は測定登録カ所554カ所のうち、431カ所での測定結果を分析し、単純平均は23.74ppbになりました。2014年12月は440カ所の測定結果を分析し、平均は26.6ppbでしたので、昨年より低い数値になりました。

二酸化窒素の環境基準（1978年に基準改定）			6月測定数		12月測定数	
・60ppb(0.06ppm)超	…環境基準を超える	(かなり汚れている)	0	0%	0	0%
・40ppb超 60ppb未満	…ゾーン基準内	(汚れている)	14	3%	23	5%
・20ppb超 40ppb未満	…基準以下	(まあまあ)	223	51%	281	65%
・20ppb以下	…旧基準内	(きれい)	199	46%	127	29%
			436	100%	431	100%

#### ◆ppm（パーツパーミリオン）

100万分の1を表す単位で、大気汚染の汚染物質の濃度を表す単位として使われます。例えば、大気中二酸化窒素1ppmとは、1立方mの大気中に1立方cmの二酸化窒素が含まれていることとなります。

#### ◆ppb（パーツパービリオン）

10億分の1を表す単位で、1ppmは1ppbの1000倍にあたります。

1ppb=0.001ppm=10億分の1=0.0000001%

### <2015年12月二酸化窒素測定値ワースト6>

\*測定場所\*

- ①幹線道路に面した地点
- ②幹線道路以外の道路に面した地点
- ③学校敷地内
- ④公園・寺院などの敷地内
- ⑤その他

順	ppb	市町村	測定場所	支部	測定地点住所
1	53	越谷市	①	越谷	国道4号大間野交差点
2	52	蓮田市	②	蓮田	椿山橋
3	52	上尾市	②	上尾西	領家94-12 自宅前
4	51	八潮市		八潮	八潮市内
4	49	八潮市	①	八潮	大曾根八潮南インター付近
6	48	草加市	①	草加	青柳町4丁目外環交差点
6	47	八潮市	⑥	八潮	八条1567-22 4F ベランダ

## (6) もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる行為に 反対し、平和を守る

### ① 「もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる行為に反対し、平和を守る」の概要

2015年度も、「組合員と共に、『憲法9条』を大切にしたい平和活動を広げる」ことを目標に進めてきました。

具体的には、「戦争につながる行為に反対し平和を守る活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
組合員と共に、「憲法9条」を大切にしたい平和活動を広げる	平和をテーマとした学習会等の開催	・各事業所で年1回以上計画し、実行する
	戦争に反対し、平和を守る活動に取り組む	・各事業所の特色や部門の特色を生かして取り組む

### ② 取り組み事例

各事業所では、「戦争につながる行為に反対し平和を守る活動規程」に基づき、いろいろな工夫をして取り組んできましたが、以下は、その事例です。

#### ・「本部 5.31 オール埼玉総行動」

2015年5月31日、北浦和公園にて「9条こわすな・戦争させない！！ 集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める5・31オール埼玉総行動」が開催され、全体で約1万400人、本部職員は33人が参加しました。

ゲストスピーカーの鳥越俊太郎氏は体調不良のためメッセージ紹介のみとなりましたが、もう一人のゲストスピーカーの元自衛隊員・泥憲和氏が「立場は違っても命の大切さは同じであり、みんなで一緒に声を上げていこう。見知らぬ誰かの未来のために、戦争法案を廃案に追い込むために頑張ろう」と呼びかけ、参加者から大きな拍手が送られました。

集会后は、浦和駅、与野駅、南与野駅の3コースに分かれてパレードを行ない、集団的自衛権行使容認反対、戦争法案反対をアピールしました。

#### ・「熊谷生協病院 戦争法廃止署名」

熊谷生協病院は戦争法廃止にむけて、患者様に署名をお願いしています。外来・2階・3階にポスターと署名用紙を配置しました。

自爆テロや内戦紛争など食糧難で世界中の子どもたちや高齢者が犠牲になっています。また北朝鮮の水爆実験も報道され情勢は緊迫しています。わが国でも戦争法（安保法制）が成立して今年ほどのように運用されるか心配です。私たちは日々に変化する政局にも十二分に注目していきたいと思えます。海外での武力行使は断じて認められません。戦争法廃止の署名を患者様に知っていただくために全職員で署名を広げましょう。



## (7) 原発ゼロを求める活動をすすめます

### ① 「原発ゼロを求める活動をすすめます」の概要

2015年度も、「原発ゼロを目指して、原発学習会、放射線量測定等に取り組み、原発ゼロ署名を広げる」ことを目標に、進めてきました。

具体的には、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
原発ゼロを目指して、原発学習会、放射線量測定等に取り組み、原発ゼロ署名を広げる	原発ゼロをテーマとした学習会等の開催	・各事業所で年1回以上計画し、実行する
	原発ゼロ署名に取り組む	・各事業所の特色や部門の特色を生かして取り組む
	放射線量の測定に取り組む	・定期的に測定していく。

### ② 取り組み事例

各事業所では、「原発ゼロを目指す企画に取り組み、原発ゼロ署名を広げる」方針に基づき、いろいろな工夫をして取り組んできました。以下は、その事例です。

#### ・「熊谷生協病院 原発なくそう行田市民集会」



原発なくそう行田市民集会に参加してきました。イスラエル人のダニーさんが福島第一原発の実態と原発再稼働をすすめる安倍政権を問いました。ダニーさんは秩父（皆野町）に住んで反原発のとりくみをすすめています。話しの中で福島では子どもたちの中に甲状腺腫瘍が見つかり社会問題化しているとのことでした。放射性物質は半減期があり物質によっては長い間体の中に滞在していることがあります。ヨウ素 131 は長期間滞在して体の中で放射能を発射しています。そこで私は思いますが甲状腺検査を毎年実施する必要があると思います。「2011年に実施したから大丈夫」ではないはずです。みなさんで自治体や国に対して働きかけましょう。未来ある子どもたちの健康をみんなで守りましょう。

#### ・「埼玉西協同病院 放射線量測定」

放射線の環境汚染を防ぐ目的で、組合員活動で5月に2支部で計20ヶ所にて放射線測定をおこなった。その後、結果を本部に送付した。

#### ・「本部事務局 太陽光パネル設置変更検討」

ふれあい会館屋上への太陽光パネルの設置を目的に予算化及び工事決裁を行ない、設置検討を進めてきたが、屋根の躯体構造上の問題から設置できないことが判明した。これに伴い本部の省エネ目標の変更を実施している。

太陽光パネルは現在、協同病院への設置を検討している。



# 【放射線量測定状況】

2016.3.31現在

※高値は、0.30以上とした。

地域	地区	ブロック	支部分名 〔測定地点〕	2015年 1月～12月								備 考	
				測定件数 (延べ)	高値数 (※)	平均値(期間内)			最大値(期間内)				
						5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm		
県中地域ネットワーク	さいたま地区	A	大宮西	17	0	0.09	0.09	0.09	0.17	0.18	0.18		
			大宮南	9	0	0.11	0.11	0.11	0.15	0.15	0.15		
			大宮中央	5	0	0.11	0.13	0.13	0.14	0.18	0.17		
			土合	6	0	0.10	0.09	0.09	0.13	0.10	0.10		
		C	浦和南東	9	0	0.10	0.10	0.11	0.15	0.15	0.14		
			南風	7	0	0.08	0.09	0.10	0.12	0.16	0.21		
			大原	5	0	0.11	0.11	0.11	0.14	0.14	0.14		
			浦和東	5	0	0.08	0.11	0.11	0.10	0.15	0.19		
	県央地区	吹上	18	0	0.11	0.11	0.11	0.14	0.17	0.16			
		鴻巣・川里	277	0	0.09	0.09	0.09	0.15	0.15	0.15	毎月約30ヶ所測定		
県南地域ネットワーク	南部地区	A	芝北	15	0	0.09	0.10	0.10	0.11	0.12	0.12		
			柳崎	12	0	0.12	0.10	0.11	0.18	0.16	0.17		
		B	戸塚中央	8	0	0.09	0.10	0.10	0.13	0.14	0.13		
		D	西川口3	30	0	0.12	0.11	0.11	0.24	0.25	0.20		
	東部地区	春日部中央	5	0	0.09	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11			
		春日部北	9	0	0.15	0.13	0.13	0.23	0.26	0.19			
	利根南地区	杉戸	8	0	0.11	0.11	0.11	0.14	0.14	0.14			
		蓮田	30	0	0.09	0.09	0.09	0.14	0.14	0.14			
県西地域ネットワーク	南西部地域	新座	14	0	0.06	0.06	0.05	0.08	0.07	0.08			
		西富士見	18	0	0.10	0.10	0.10	0.15	0.15	0.15			
		大井中央	6	0	0.11	0.10	0.10	0.15	0.15	0.15			
		上福岡南	12	0	0.10	0.10	0.10	0.19	0.19	0.19			
		ふくおか	6	0	0.06	0.05	0.05	0.06	0.07	0.06			
	西部地区	A	中新井第一	10	0	0.12	0.12	0.12	0.14	0.14	0.16		
			中新井第二	13	0	0.11	0.11	0.13	0.18	0.18	0.20		
	県北地域ネットワーク	北部地区	A	熊谷西	5	0	0.09	0.11	0.11	0.13	0.14	0.15	
				荒川北	6	0	0.10	0.10	0.09	0.10	0.11	0.10	
				中条南河原	8	0	0.10	0.11	0.10	0.15	0.15	0.13	
秩父地区		中央第一	24	0	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07			
		皆野	17	0	0.12	0.12	0.12	0.18	0.20	0.16			
総 合 計				614	0								

30支部



医療生協さいたま 2015年度

# 環境報告書

発行：2016年9月6日

発行者：医療生協さいたま生活協同組合

〒333-0831

埼玉県川口市木曾呂 1317

TEL (048-294-6111)

編集：医療生協さいたまマネジメントシステム委員会